

われわれは、自由民主的な社会をつくり、世界の平和と文化国家の発展に貢献する。われわれは、教育専門職としての使命を自覚し、健全な青少年の育成に努める。われわれは、社会的責任を自覚し、国民の支持のもとに中正不偏の教育を推進する。われわれは、教職員の社会的・経済的地位と資質の向上に努める。われわれは、主体性を尊重し、同志の結束を固める。



全日本教職員連盟(全日教連)ホームページ URL:http://www.ntfj.net/

全日教連

教育新聞

The National Teachers Federation of Japan

発行所：全日本教職員連盟(全日教連) 〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目7番地 半蔵門村山ビル TEL.03(3264)3861 毎月10日発行 定価1部50円 (年1,000円送料とも)会員の購読料は会費の中を含む

おもな記事

- 全日教連役員一覧.....2面
■退任役員挨拶・新副委員長抱負...3面
■教育皆伝、単位団体あれこれ.....4面

今、全日教連にしかできないことがある

委員長の声に、そして国民の負託に応える

第十四代全日本教職員連盟委員長 島村 暢之

この度、単位団体の信任を賜り、昨年度に続き全日教連委員長の大任を仰せつかることになりました。昨年度の経験を活かして、今年度の活動を積極的に、子供たちのために、そして我が国の教育のために、役員一同、一致団結し全力を挙げて職務を遂行して参る所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



島村暢之 委員長
昭和47年生まれ、東京都昭和三十九年度全日教連事務局長、令和2年度全日教連事務局長、令和3年度全日教連事務局長、令和3年度全日教連事務局長、令和3年度全日教連事務局長

全日教連は、教育の最前線である学校現場の立場から、国民の負託に応える教育を確立するため、今年度もしっかりと活動して参ります。
【最新の教育情報を迅速に(会員へ)】
新型コロナウイルス感染症の中で、教育活動を推進していくためには、何よりも文部科学省が発信する様々な情報の把握が重要です。加えて、未知のウイルスであり、研究が進み新たな事実が解明される毎にそ

の情報が書き添えられているので、「最新」をキャッチアップしていただくことが不可欠です。例えば「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」の発行は、令和2年5月22日の発出以来、四度の改訂が加えられ、現在 version 5 が公開されています。
また文部科学省は、義務学校に児童生徒一人一台端末を整備した今年度で「GIGAスクール元年」と位置付けています。これに付随して、以下のような施策が進められています。
「GIGAスクール構想本格運用時チェックリスト」の提示
「学びの保障オンライン学習システム(MIXO BT...メックス)」の開発
「GIGA Step」(スタディエクス)

【要望・提言活動をより充実させるために】
昨年度、全日教連は、コロナ禍においても児童生徒の学びを保障すること、そして現場教職員の働きを支援することを要望・提言の中心に据え、活動を展開して参りました。その中で、最大の成果は「小学校における三五人学級化」の実現です。これにより、令和三年度から五年間掛け、段階的な定数の改善が行われています。これは偏り、会員の皆様からのお声、そしてそれを形にした署名簿があったからこそです。また、令和二年度補正予算や、令和三年度当初予算に、全日教連の要望した内容が盛り込まれたことから、全日教連全国アンケータがエビデンスとなり、この道も「一歩から」とい



【組織の強化・拡大のために】
全日教連は、我が国の教育正常化及び教育環境の更なる充実を目指し、昭和五十九年二月に結成された教職員団体です。
全日教連は、我が国の教育正常化への諸先輩方の熱い思いを、更に次世代へ引き継いでいくために、一人でも多く同志の力を結集する必要があります。
しかし、残念ながら団体の事情により、以下の単位団体が令和一年度末より脱退、活動休止となりました。